

平成 23 年度

ITSスポットの特記仕様書

平成 23 年 11 月

## 1 提供するサービス・機能について

### (1) サービス

長崎 EV&ITS において提供するITSスポットサービスは、次の項目とする。

- ・ IP 接続による情報提供サービス(観光コンテンツ等の情報提供)  
長崎EV & ITS 観光情報プラットフォーム(以下「プラットフォーム」という。)に蓄積されているローカルスポット、ルートプラン等の情報をIP系通信により提供
- ・ 非IP接続による情報提供サービス(観光コンテンツ等の情報提供)
- ・ プローブ情報サービス
- ・ 情報提供サービス(VICS フォーマット対応)の提供

### (2) 機能

実装する機能は、次の項目とする。

- ・ ITS FORUM RC - 004 カテゴリ(1)に対応
- ・ ITSサービス推進機構のDSRC-SPFの実装
- ・ 情報提供サービス(VICS フォーマット対応)機能の実装

## 2 機器仕様について

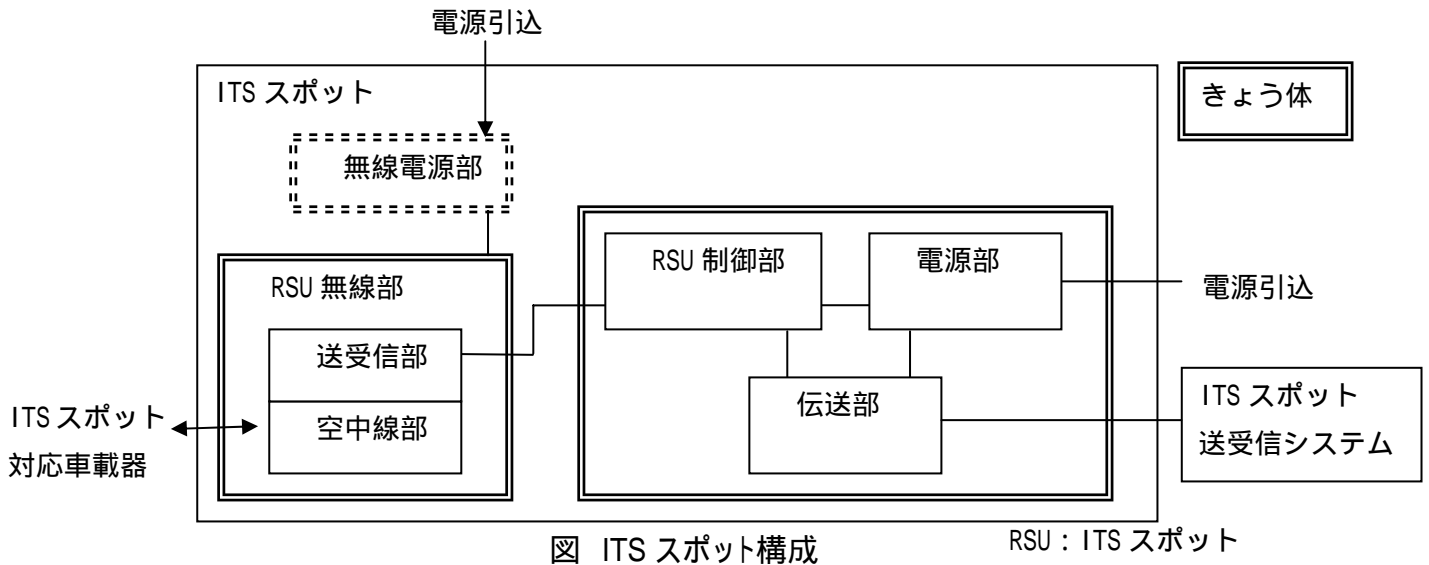
機器仕様は、各仕様書の最新版に準拠する。

- ・ 国土交通省 国土技術政策総合研究所  
路側無線装置(DSRC:スポット通信)仕様書(案)  
路側センター間インタフェース仕様書(案)  
情報接続処理装置(DSRC:スポット通信)仕様書(案)
- ・ 財団法人 道路新産業開発機構  
DSRC - A10400 5.8GHz帯 DSRC情報接続サービス 路車間インタフェース仕様書  
DSRC - A10310 電波ビーコン5.8GHz帯 データ形式仕様書 ダウンリンク編  
DSRC - A10320 電波ビーコン5.8GHz帯 データ形式仕様書 アップリンク編  
DSRC - A10340 電波ビーコン5.8GHz帯 データ形式解説書 ダウンリンク編  
DSRC - A10350 電波ビーコン5.8GHz帯 データ形式解説書 アップリンク編  
DSRC - A10400 電波ビーコン5.8GHz帯 路車間インタフェース仕様書  
DSRCを利用した車利用型EMV決済に関するガイドライン
- ・ 一般社団法人 ITSサービス推進機構 セキュリティ検討WG  
狭域通信(DSRC)セキュリティプラットフォーム(SPF)インタフェース仕様書
- ・ 国際電気標準会議(IEC)推奨規格
- ・ 国際電気通信連合無線通信部門勧告及び電気通信標準化部門勧告(ITU-R及びITU-T勧告)
- ・ 国際標準規格(ISO)
- ・ 日本工業規格(JIS)
- ・ 電気規格調査会標準規格(JEC)
- ・ 日本電機工業会標準規格(JEM)

- ・ 社団法人 電波産業会標準規格
  - ARIB STD-T75 狭域通信(DSRC)システム標準規格
  - ARIB STD-T88 狭域通信(DSRC)アプリケーションサブレイヤ標準規格
  - RCR STD-38 電波防護標準規格
- ・ 社団法人 電波産業会発行技術資料
  - ARIB TR-T16 狭域通信(DSRC)システム陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件
  - ARIB TR-T17 狭域通信(DSRC)アプリケーションサブレイヤ陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件
- ・ IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)規格
- ・ ANSI(American National Standards Institute)規格
- ・ ITS情報通信システム推進会議
  - ITS FORUM RC-001 位置情報表現形式ガイドライン POIX\_EX
  - ITS FORUM RC-002 DSRCシステムにおけるクレジット決済適用のためのガイドライン
  - ITS FORUM RC-003 DSRCシステム基地局設置のガイドライン
  - ITS FORUM RC-004 狭帯域通信(DSRC)基本アプリケーションインタフェース仕様ガイドライン
- ・ 電波法
- ・ 総務省令「電波法施行規則」及び「無線設備規則」
- ・ 総務省令「特定無線設備の技術基準適合証明に関する規則」
- ・ 経済産業省令「電気設備に関する技術基準」
- ・ 道路法
- ・ 道路構造令
- ・ 電気通信技術審議会答申-諮問第104号「電波防護指針への適合を確認するための電波の強度の測定方法及び算出方法」
- ・ 日本自動車技術会規格(JASO)

### 3 構成について

ITSスポットは、下図のとおり路側装置(RSU)無線部、RSU制御部、伝送部、電源部、きょう体で構成される。また、協議により無線電源部(4章)を設ける。



### 4 無線電源部

#### (1) 外形寸法

無線電源部の外形寸法は取り付け金具、蝶番、扉ラッチ部及び日除け部等の突出部を含まない状態で高さ  $500 \pm 10$  mm、横幅  $350 \pm 7$  mm、奥行き  $300 \pm 7$  mm以下とする。

#### (2) 質量

60kg以下とする。

#### (3) 機材仕様

材質は、SPCC(JIS G3141)とし板厚 1.6 mm同等以上、もしくは同等以上の強度を確保できる材質及び板厚とする。

#### (4) 塗装

無線電源部の筐体塗装は、前処理としてブラスト処理後亜鉛溶射(JIS H8300 ZS40)を行うものとし、内外面ともプライマ及びサーフェスを施し、メラニン樹脂塗料の2回塗り焼き付け塗装又は、ポリウレタン樹脂塗料の2回塗り仕上げとする。

また、膜厚は外面  $100 \mu\text{m}$  以上、内面  $60 \mu\text{m}$  以上とする。

なお、塗装色及び艶の状態は、協議により決定する。

#### (5) 構造

- 1) 前面に扉を設け、内部の保守点検が容易な構造とする。
- 2) 本装置全体の電源を開閉する主電源スイッチを設ける。
- 3) 電源部に避雷ユニットを設ける。
- 4) 接地は、電源用避雷ユニットの接地、無線電源部筐体接地及び信号用接地として共通でD

種1ヶ所とする。

5)扉のハンドルは鍵付きとする。

6)制御部から無線部への光ファイバケーブルを中継するための光成端部を設けること。

#### (6)電気仕様

1)入力電圧 AC100V $\pm$ 10%またはAC200V $\pm$ 10%

2)電源容量 200VA 以下

#### 5 現地試験調整

各ITSスポットとITSスポット送受信システムを含む関連機器との対向試験調整及び総合試験調整は、本工事にて行うものとする。

#### 6 その他

既存の監視端末(PC)において、SPFの活性化が可能なメンテナンス機能を準備すること。  
プラットフォームおよびITSスポット対応カーナビとの整合を図ること。